

八高古墳発掘調査進捗報告!

第1号 令和6年8月

八高古墳発掘調査、2号館前の調査区Cの調査終了。新たに1号館前の調査区Dの調査開始!

7月16日から八高古墳発掘調査が始まり、8月8日に最初の2号館前の調査区Cの調査が終了しました。

発掘調査の手順については、始めに硬い表土を大型のショベルカーで掘削してきます(写真1 表土剥ぎ)。その後人の手で地面に埋まっている人の生活した痕跡を見つけ出していきます(写真2 検出)。そうすることで当時の古墳の姿や周辺で生活していた昔の人たちの痕跡(遺構)や、使用した道具(遺物)が見つかります。遺構は表土等の土層を取り除くことで見つけることができます(写真3 四角形の穴の跡)。写真3の四角形の穴からは室町時代のお椀や素焼きの皿などが出土しています(写真4)。

他に写真5のような第八高等学校の寮で使われた井の蓋が見つっています。調査区Cの南側の大きな穴から出土しています。

現在、1号館の前の調査区Dの発掘調査を進めています。ここは八高古墳の南に近接しており、古墳を囲む溝(周溝)が見つかることが期待されます。

お詫びとお願い 発掘調査を進めるなかで、騒音など学生、大学関係者および周辺住民の方々にご迷惑をかけることが生じることがありますが、調査担当者としてそうした障害が生じないように努めてまいりますので、何卒調査終了までご勘如お願い申し上げます。

イビソク 調査担当 佐藤



写真1 表土剥ぎ



写真2 検出



写真3 四角の穴の跡



写真4 土坑の中の茶碗など



写真5 第八高等学校の寮で使った井の蓋

